

平成22年/2010

No. 16

野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ご あ い さ つ

野口遵顕彰会

会長 清 本 英 男

晩秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、早いもので今年も残すところ一ヶ月あまりとなりました。野口遵顕彰会の今年度の事業は計画通りに進んでいます。今後の計画としては『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い、「科学」をテーマにした作文コンクール、それに、校外授業『会社はどんなところ!!』がありますが、いずれも計画通りに実施していきたいと考えています。

平成13年1月に発足した野口遵顕彰会も早いもので10年を迎えました。発足時から取り組んでまいりました青少年に科学への夢を育む事業『ジュニア科学者の翼』、宮崎県内における科学技術の発展を願って創設しました『野口賞』授与事業も10回を数え、所期の目的を十分達成しています。そして、その後新たに取り組んでいます各事業も円滑に進めることができているのですが、これらの事業を通して「野口遵顕彰会」は地域の皆様方に確実に認知されてきたように思います。これもひとえに賛助会員の皆様をはじめ関係各位のご理解とご支援の賜でございませう。心からお礼を申し上げます。

これからも、さらに皆様方のご期待に応えられますよう事業の一層の充実・発展に努めてまいります。皆様方の変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成22年11月

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」（冊子）の縮刷版（B6版）を、延岡市、高千穂町、日之影町、門川町（2校）および五ヶ瀬中等教育学校のあわせて27校の2年生全員に、2,000冊を配付しました。今回で6回目の配付となりました。

各中学校では朝の読書の時間を活用するなどして、野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなど、生徒の皆さんの理解を深めるのに役立てています。

なお、今回も「延岡市の偉人」（内藤政舉氏・若山牧水氏・後藤勇吉氏）を付録としました。



青少年科学技術派遣研修事業

《第10回『ジュニア科学者の翼』》

科学技術への関心を高め"夢"と"ロマン"を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、今年も去る7月27日（火）から7月30日（金）の3泊4日の日程で実施しました。

今回も12名の中学生の皆さんを派遣しましたが、関東地区の東芝科学館、野口研究所、国立極地研究所、日本科学未来館、および千葉県立現代産業科学館を訪問して、最先端の科学技術や医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたり研修しました。

8月10日（火）の「報告会」で12名の皆さんは、科学への関心が一層高まったこと、「科学」をより身近に感じるようになったこと、自分の"夢"につながる内容などその成果を力強く発表し、今回の体験を将来に生かしていきたいと報告しました。



新しい科学技術分野を切り開いていく、世界的に高いレベルの日本の科学技術や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊かにし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。

今回、『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、第6回野口研究所「学修奨励金」授与者に、土々呂中学校2年生 黒木

友香子さんが決まりました。黒木さんには、書籍や教材費の一助として「学修奨励金」が、高校入学時から高校在学の3年間、毎年10万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子6名：女子6名）

氏名	学校・学年	氏名	学校・学年
高濱千晶	延岡中学校2年生	草野空太郎	東海中学校2年生
辻見佳	恒富中学校2年生	黒木友香子	土々呂中学校2年生
岡田舜	岡富中学校2年生	松崎太祐	三川内中学校2年生
園田美里	旭中学校2年生	長瀬真希	北川中学校2年生
野々上翔太	西階中学校2年生	山内千尋	尚学館中学校2年生
松木沙綾	南中学校2年生	甲斐雅章	日之影中学校2年生

※引率 柳瀬智文 延岡市教育委員会 学校教育課指導主事

第10回『野口賞』授与事業

《「奨励賞」が決まる!!》



第10回『野口賞』に3件の応募がありましたが、選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、「奨励賞」が決まりました。

受賞者および受賞テーマ、受賞理由は次のとおりです。

〈応募者〉 株式会社 つみきハウス（高千穂町岩戸）

取締役 中尾 繁 男 様

〈応募テーマ〉 「つみきブロック」

<受賞理由>

間伐材（杉）を利用して木製ブロック（長さ30×厚さ7.5×高さ6cm）を造り、通しボルトに通して積み上げて家の壁を建築するという独創的な発想は、子どもたちでも組み立てできるという夢のある工法であり、「経済産業大臣優秀賞」をはじめ多くの「賞」を受賞し、国外での受賞実績もあり技術的にすばらしい。そして、間伐材（杉）の利用は地球環境を守る点からもすばらしく、また、宮崎県の林業の活性化が期待できる・・・ことなどが高く評価されての授賞となりました。

「授賞式」は12月2日（木）キャトルセゾン マツイにて行われ、賞状と賞金（50万円）が授与されます。

"校外授業『会社はどんなところ!!』"事業

延岡市内の中学生が市内の会社を訪問して、その会社の優れた技術とその技術をもとにつくられた製品が世の中でどのように役に立っているか、また、経営者等から「会社とは・・・」、「会社で働くということ」、「生徒たちへの助言」などの話を直接聞き、また、実際に工場で働いている人達に接することで「働くことの大切さ、大変さ、きびしさ・・・」を理解する機会として、これまでに13回実施しました。



本年度は14回目として去る9月28日（火）熊野江中学校の全校生徒と先生6名の皆さんが、旭化成展示センターと旭化成せんい㈱ベンベルグ工場を訪問して学習しました。そして15回目は北川中学校2年生40名と先生4名の皆さんが、旭化成展示センターと旭化成メディカル㈱プラノバ工場を訪問して学習しました。

旭化成展示センターでは、旭化成の創業者 野口遵翁と旭化成の歴史・会社概要についてビデオを見て学習し、館内に展示してあるいろいろな製品を見て知識を深めました。また、ベンベルグ工場やプラノバ工場では製造方法やいろんな製品について説明を聞いて、実際に製造工程を見学し模型を使った実験などを楽しく学習しました。

それぞれの工場では、会社に入ってから一層勉強する必要があること、学校での勉強は社会人として役に立つような能力を見つけるための土台となる・・・など、自分のためにしっかり勉強しましょう・・・との大変ためになる話がありました。

参加した生徒のみなさんや引率の先生からは「学校の授業では味わえないことを学習することができました。働くことの大切さ・きびしさが少しは分かることができて大変有意義でした。」などの感想が寄せられました。

本年度は、今後さらに3回計画・実施することになっています。

第2回「野口遵翁とカザレー博士」顕彰祭

《 ー 未来に語り継ぐ会 ー 》

10月5日（月）16時30分から、旭化成向陽クラブおよび隣接する銅像前広場において45名の皆さんが出席して盛大に行いました

これは、野口遵翁が大正12年（1923年）、当時鉄道も通っていなかったこの延岡にカザレー式アンモニア合成工場を建設して「工業都市 延岡」発展の基礎を築かれました。また、カザレー博士はこのアンモニア合成法の発明者で、運転開始に伴いイタリアから来延・滞在して直接指導にあたり、この年の10月5日、日本で初めての合成アンモニアの誕生に大変尽くされました。

この合成アンモニアが誕生した10月5日は、延岡が近代工業都市への"夜明け"となった記念すべき日で、二人の功績を顕彰してこの「顕彰祭」を昨年より行っています。「顕彰祭」では、出席者全員が二人の遺影の前で白菊を献花し、懇談会では野口遵翁が朝鮮半島に進出して最初に建設した赴戦江発電所の記録を見て、そして、わずか30戸足らずの寒村であった『興南（フナム）』に、野口遵翁は次々に工場を建設するとともに小・中学校、役場、警察署、社宅、寮、供給所、病院などをつくって、人口18万人の大都市となりましたが、その『興南』の様子を紹介しました。

来年以降もこの記念すべき10月5日に毎年開催して、二人の偉業と功績を後世に伝えていきたいと考えています。



第2回『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い

青少年に科学への夢と希望を育む事業『ジュニア科学者の翼』が本年度10回が終えたのを機会に、第6回～第10回の派遣研修生（58名）と引率の先生の皆さんに一同に集まってもらって、研修の成果がその後の進路や考え方にどう生かされているかを確認し、この事業がさらに充実・発展するために生かしていきます。

開催日時は、11月27日（土）10時から旭化成向陽クラブで行います。

第2回「科学」をテーマにした作文コンクール

小・中・高校生を対象に「科学」をテーマにした作文を募集し、科学に対する意識の啓発をはかるとともに優秀な者を表彰します。この「作文コンクール」は平成20年度に続いて2回目。

対 象

- （小学生）・・・延岡市内の小学校に在籍する児童
- （中学生）・・・延岡、高千穂、日之影、門川の各中学校及び五ヶ瀬中等教育学校に在籍する生徒
- （高校生）・・・延岡・門川・日向・高千穂・五ヶ瀬の各高校に在籍する生徒

スケジュール

(12月初め) 各学校へ案内 (1月中旬) 応募締め切り
(2月中) 選考・入賞者決定 (3月中旬) 表彰式

応募要領

(小学生)・・・400字詰め原稿用紙 1～2枚程度
(中学生)・・・" 2枚程度
(高校生)・・・" 3枚程度

表彰

①次の4部門別に表彰します。

- ・小学生下学年の部 (1～3年生)
- ・小学生上学年の部 (4～6年生)
- ・中学生の部
- ・高校生の部

②表彰は賞状と副賞(楯と図書カード)を授与します。

なお、図書カードは

(最優秀賞)・・・1点 1万円 (優秀賞)・・・5点 5千円/1点
(奨励賞)・・・10点 3千円/1点

「賛助会員」募集について(お願い)

野口遵顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 : (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666

ホームページを開設しています。事業の実施状況をはじめ『最新情報』を掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス> <http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>